

技能評価システム移転促進事業(SESPP) は日本式技能評価のノウハウを移転するため、ベトナム、カンボジア、インドネシアを対象に日本から専門家を講師として派遣し、セミナーや技能評価トライアルを実施しています。事業の運営事務局を株式会社 J T B 霞が関事業部にて受託しております。

日本式の技能評価の活用促進が図れるよう、J-Skills Newsでは、事業の取組など、お知らせしています。(年4回発行)

カンボジア・インドネシア・ベトナムで、2019年度実施計画についての協議を実施

事業の効果的・効率的な実施を図るため、活動対象国であるカンボジアで4月24日(水)、インドネシアで5月21日(火)、ベトナムで6月3日(月)に各国政府人材開発部局と厚生労働省およびSESPP事務局を中心に当年度の実施方針についての協議を開催しました。

議題については研修・セミナー及びトライアルの対象職種・等級、参加者、スケジュール、事業の達成目標やその手順等の調整を行い、実施計画を決定しました。

各国の実施方針とポイントは以下のとおりです。

【カンボジア】

- ・JICAプロジェクトとの連携により、電気系職種(シーケンス制御、電気系保全、電工)の支援を行う。
- ・電工は国内大会をアセアン大会までレベルを引き上げ、実施するためのノウハウの移転を行う。
- ・昨年度、5名の認定評価者が誕生した配電盤・制御盤(3級)の国家検定化が待たれている。

【インドネシア】

- ・2018年度までに金属機械関係7職種について評価者認定まで完了、今年度は量産型職種であるプラスチック成形の技能評価トライアルを実施、併せて、評価者の認定を行う。
- ・新規職種として、CAD製図の実施が決定。3級からスタートさせる。

【ベトナム】

- ・ハノイでは2018年に国家検定化した旋盤やフライス盤に続いて、機械検査とシーケンス制御の国家検定化に向けた支援を中心に行う。
- ・南部地域(ホーチミン)での旋盤、フライス盤、機械検査、シーケンス制御での展開を支援する。



対象国協議の様子 (カンボジア)



対象国協議の様子 (インドネシア)



対象国協議の様子 (ベトナム)

□ 2019年度の技能評価システム移転促進（SESPP）事業の実施計画

本年度は、ベトナム、カンボジア、インドネシアにて以下の現地研修を予定しております。

技能評価トライアル（SET）は模擬技能検定です。トライアルへの受検者としての参加、見学のご希望があれば、SESPP事務局までメールにてご連絡をください。

ただし、機材の関係で定員が限られておりますので、ご希望にそえない場合がございますことをご了承ください。

セミナー・トライアル	実施時期	実施場所
■ ベトナム <ul style="list-style-type: none"> ・シーケンス制御2級SAT ・旋盤2級VTM ・機械検査SEM（第1回） ・旋盤2級SET、SAC ・フライス盤3級SAT、SET ・機械検査3級SET ・シーケンス制御2級SEM、SET、SAC ・機械検査3級SET、SAC ・機械検査SEM（第2回） ・機械検査3級SET、SAC ・本邦研修シーケンス制御2級SEM + 愛知技能五輪視察 	8月19日(月)～22日(木) 8月26日(月)～30日(金) 9月18日(水)～20日(金) 9月23日(月)～26日(木) 10月21日(月)～25日(金) 11月25日(月)～28日(木) 12月16日(月)～20日(金) 12月18日(水)～20日(金) 12月23日(月)～25日(水) 1月13日(月)～16日(木) 11月13日(水)～22日(金)	サイゴン・ハイテク・パーク訓練センター（SHTP-TC） ホーチミン技術職業短大（HVCT） ハノイ工業大学（HaUI） ハノイ工業職業訓練短大（HIVC） ホーチミン技術職業短大（HVCT） サイゴン・ハイテク・パーク訓練センター（SHTP-TC） ハノイ電気機械短大（HCEM） ハノイ工業大学（HaUI） ハノイ工業大学（HaUI） サイゴン・ハイテク・パーク訓練センター（SHTP-TC） 幕張国際研修センター
■ カンボジア <ul style="list-style-type: none"> ・シーケンス制御3級SEM、SET ・電気系保全3級SEM、SET ・電工VTM、SET（競技トライアル+デモ） ・本邦研修シーケンス制御2級SEM + 愛知技能五輪視察 	9月2日(月)～6日(金) 12月2日(月)～6日(金) 12月16日(月)～20日(金) 11月13日(水)～22日(金)	プレアコソマック工科職業訓練校（PPI） 国立技術訓練大学（NTTI） 国立カンボジア工科大学（NPIC） 幕張国際研修センター
■ インドネシア <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック成形2級SET、SAC ・CAD製図3級SAT、SET 	9月24日(火)～27日(金) 2月17日(月)～20日(木)	KMK Plastics Indonesia KMK Plastics Indonesia

◆用語解説

SEM：Skills Evaluation Method（技能評価技法研修）
技能検定試験基準、技能検定の学科・実技試験問題作成方法を習得するセミナー

SAT：Skills Assessor Training（技能評価者講習）
技能検定試験を実施・運営する評価者を養成するセミナー

VTM：Vocational Training Method（職業訓練技法研修）
職業訓練上の課題や問題点に焦点をあて、その改善を図るためのセミナー

SET：Skills Evaluation Trial（技能評価トライアル）
技能検定試験などを現地で試行的に実施

SAC：Skills Assessor Certification（技能評価者認定）
SETにおいて認定対象者を講師が一定の基準により評価し、基準を満たせば認定評価者として認定

□研修レポート（各国で今年度の研修がスタートしました）

■ベトナム（ホーチミン）における旋盤2級の職業訓練技法研修

ベトナムでは2018年6月に旋盤2級とフライス盤2級（日本の3級相当）の国家技能検定が初めて実施され、今後は上の級の実施に向けた取り組みや南部のホーチミンでの展開が期待されています。昨年までに南部地域で9人の認定評価者が誕生している旋盤3級の次のステップとして、評価者の技能レベルの更なる向上と技能検定トライアル実施に向けた体制の構築を目的とし、旋盤2級の職業訓練技法研修が2019年8月26日（月）～30日（金）にホーチミンのホーチミン技術職業短大（HVCT）にて実施されました。

受講者9名のうち、6名が旋盤3級の認定評価者であり、9名全員が旋盤の訓練指導を担当。

講師の稲川文夫氏（SESPP事務局 技術顧問）によると、「作業をスムーズに進めることができた。今回の研修結果は効果的な訓練の進め方に関して特定のテーマを設定して、短期間の職業訓練技法を実施することは発展途上国では重要な技術支援内容となりうることを証明できた」としています。

一方、受講者からは「標準作業書を使って実技訓練を行うと非常に理解しやすく、かつ、切削条件の見つけ方に関して、自ら考える習慣が身に付いた」、という意見が寄せられました。



研修の様子

■カンボジアにおけるシーケンス制御3級の技能評価技法研修及び技能評価トライアル

昨年、カンボジアで初めて開催されたシーケンス制御3級の技能評価技法研修及び技能評価トライアルが2019年9月2日（月）～6日（金）にプレアコソマック工科職業訓練校（PPI）にて開催されました。昨年、技能評価者講習を受講した労働職業訓練省スタンダードカリキュラム部（DSC）、国立カンボジア工科大学（NPIC）、国立技術訓練大学（NTTI）、PPIから7名の評価者が受講、講師は昨年度に続き、内山 聡氏（株式会社デンソー）にご協力を頂きました。

シーケンス制御は電気系統の保全・管理やトラブルシューティングを学ぶ上では重要な職種であり、カンボジアに進出している日系企業からも重要視されているため、今年度もカンボジアではJICAプロジェクトと連携し、電気系保全・電工とともに電気系職種の研修が継続されています。

講師の内山氏からは、「シーケンス制御作業の基礎技能について、設計・プログラミング能力の強化のために2級及び3級の実技試験課題を使い、段階的に課題を作成することで、全体の底上げができた」ということでした。今回の研修で受講した7名が評価者認定対象者として、次年度には認定評価者を目指すことになり、国家検定化への基盤づくりに向けた今後の活躍が期待されます。



内山専門家による講義



現地評価者による実技試験の運営

■ インドネシアにおけるプラスチック成形2級の技能評価トライアル及び評価者認定

2019年9月24日（火）～27日（金）でジャカルタ近郊ブカシにあるPT.K.M.K Plastics Indonesiaに多大なご協力をいただき、プラスチック成形2級の技能評価トライアル及び評価者認定を実施しました。プラスチック成形の射出成形とは、加熱溶融させた材料（プラスチック）を金型内に射出注入し、冷却・固化させる事によって、成形を行う、部品の生産に必要な技能です。

今回の技能評価トライアルを運営した評価者は Denso Manufacturing Indonesia, Yamaha Music Manufacturing Asia, Nagai Plastic Indonesia, Mada Wikri Tunggal, KMK Plastics Indonesia, J.S.T. Indonesia, GS Batteryからの8名。技能評価トライアル受検者は10名。講師は、2013年・2015年・2017年にもインドネシアでプラスチック成形の研修を担当して頂いた、中澤 誠氏にご協力を頂きました。

今回のトライアルでは、評価者認定も行われ、8名中、新たに6名が評価者として認定されました。今後の実技試験における評価者としての活躍が期待されます。

中澤氏によると、今回、認定されなかった2名は、実際の担当が射出成形ではなく、「準備」「実施」「採点評価」のうち「採点評価」の部分の評価点が基準に達しておらず、今後の学び直しや、更なる講習で、上を目指してほしい、という期待を込めたアドバイスを頂きました。



中澤専門家による講義



実技試験成品評価作業

発行：SESPP事務局（株式会社JTB 霞が関事業部）

『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局（株式会社JTB 霞が関事業部）

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階
TEL：+81-3-6737-9263 FAX：+81-3-6737-9266

担当：安藤・栗原・風見

E-mail：sespp@jtb.com